

飛鳥資料館 冬期企画展 「飛鳥の考古学2019」

今回の展覧会では、2018年度に飛鳥藤原地域でおこなわれた発掘調査の成果を中心に、最新の調査研究の成果もあわせて紹介します。

飛鳥京跡苑池では、北側の池が全面的に調査され、飛鳥時代の庭園の具体的な姿が判明しつつあります。小山田古墳では、古墳西南部で墳丘盛土と西裾部が確認されたことで、古墳の形状や規模を復元する新たな手がかりが得られました。飛鳥寺の北方でおこなった調査は、狭い範囲でしたが、飛鳥寺北部域の整備過程をより詳しく知ることができるようになりました。また、古代の幹線道路である山田道の調査では、道路に関わると推測される溝がみつかっています。藤原宮の大極殿院では、北面回廊周辺の調査により、北門の位置や回廊の構造とともに、造営過程の詳細もわかってきました。四条遺跡では、多くの建物が新たに確認され、四条大路の北と南における土地利用の一端があらかとなりました。

この冬は、これらの発掘調査があらかにした飛鳥の歴史研究の最前線をぜひお楽しみください。

(飛鳥資料館 若杉 智宏)

会 期：2020年1月24日(金)～3月15日(日) 月曜休館(祝日の場合は翌平日)※2月2日(日)は無料入館日

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問い合わせ：☎0744-54-3561



編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月 2019年12月